

指定要件等	必須:A, 非必須:B	42 社会保険田川病院
所在地		福岡県田川市上本町10番18号
I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定		充足度
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		福岡県(田川医療圏) 146,494人(平成12年10月1日現在)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考	12.1%(平成15年)
II 拠点病院の指定要件 (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)		
1 診療体制		
(1)診療機能		
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○ 「参考資料1」 P666~P690
②緩和医療の提供体制	A	○ 平成16年6月より緩和ケアチームを編成
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○ 院内に、地域医療連携室を設置し、地域医療機関からの相談や紹介に応じている。紹介は35%前後で推移している。 また、必要に応じて放射線治療協力機関である麻生飯塚病院や久留米大学病院と連携を回っている。 紹介患者数 5,619人、逆紹介患者数 402人(平成15年6月~16年2月)
(2)診療従事者		
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○ 地域医療連携室において副院長、主任看護師等を中心に相談に対応している
②下記に掲げる者の配置		
○専門的な看護に携わる看護師	B	×
○精神保健福祉士	B	×
○臨床心理に携わる者	B	×
○臨床診療録管理に携わる者	B	○ 常勤3名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○ 常勤2名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○ 放射線治療協力機関として麻生飯塚病院と委託契約を締結している
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○ 常勤1名
(3)医療施設		
①医療相談室の設置	A	○ 有 1室
②集中治療室の設置	B	○ 有 10室
③無菌病室の設置	B	×
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○ 隣接する飯塚医療圏のがん診療拠点病院である麻生飯塚病院と放射線治療の委託契約を締結している
(4)医療機器		
○高度な医療機器の設置	B	○ MRI1台、CT2台
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○ 放射線技師10名 臨床工学技士1名
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立	A	○ 平成16年7月システムを導入
2 研修体制		
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 研究会及び懇話会等積極的に研修を実施している
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 内科、外科において週に1回症例検討会を開催するとともに、終末期ケアに関する院内研修等を実施
3 情報提供体制		
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○ がんを診療している診療科(内科、呼吸器科、外科、婦人科、泌尿器科、病理検査科等)がそれぞれ癌の診断や治療について紹介をしている。
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談に応じた情報提供	A	○ 診療医案内及び住民向け季刊誌を院外にも発送し、院外への情報の提供に努めている
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○ がんに関する全国学会や地方会に意欲的に参加している。情報収集はもとより当院の症例や治療効果など積極的に発表している。

指定要件等	必須:A 非必須:B	43 独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター	
所在地		長崎県大村市久原2丁目1001-1	
I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定		充足度:	
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)			長崎県(県中央地域保健医療圏) 269,526人
入院患者に占めるがん患者の割合	参考		約70%
II 拠点病院の指定要件 (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)			
1 診療体制			
(1)診療機能			
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	<input type="radio"/>	「参考資料1」 P691~P693
②緩和医療の提供体制	A	<input type="radio"/>	緩和ケア病棟なし、緩和ケア提供体制有り
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	<input type="radio"/>	地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制有り
(2)診療従事者			
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	<input type="radio"/>	病理及び放射線科の医師が対応
②下記に掲げる者の配置			
<input type="radio"/> 専門的な看護に携わる看護師	B	<input checked="" type="checkbox"/>	現在は資格を有する者はいないが、今後配置できるよう整備していく
<input type="radio"/> 精神保健福祉士	B	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input type="radio"/> 臨床心理に携わる者	B	<input type="radio"/>	1名(非常勤)
<input type="radio"/> 臨床診療録管理に携わる者	B	<input type="radio"/>	2名(非常勤)
<input type="radio"/> ソーシャルワークに従事するもの	B	<input type="radio"/>	1名(非常勤)
<input type="radio"/> 放射線治療医又は連携による体制の確保	A	<input type="radio"/>	1名
<input type="radio"/> 病理専門医又は連携による体制の確保	A	<input type="radio"/>	1名
(3)医療施設			
①医療相談室の設置	A	<input type="radio"/>	外来診療棟に1室設置
②集中治療室の設置	B	<input type="radio"/>	6床
③無菌病室の設置	B	<input type="radio"/>	7床
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	<input type="radio"/>	有
(4)医療機器			
<input type="radio"/> 高度な医療機器の設置	B	<input type="radio"/>	MRI、CT、ガンマカメラ、血管連続撮影装置、X線テレビ、CR、内視鏡、乳房撮影装置、ラルス、リニアック、RI
<input type="radio"/> 上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	<input type="radio"/>	臨床工学士3名
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立			
	A	<input type="radio"/>	平成16年度整備済
2 研修体制			
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	<input type="radio"/>	積極的な研修会を実施している
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	<input type="radio"/>	積極的な研修会を実施している
3 情報提供体制			
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	<input type="radio"/>	・癌の診断方法及び治療内容及び診療実績を情報公開 ・高度専門的医療や最新医療を紹介 等
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談等に応じた情報提供	A	<input type="radio"/>	地域医療連携を密にし、紹介先にX-P、内視鏡、病理の診断情報や画像を提供している。
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	<input type="radio"/>	各種学会に定期的に参加し、情報の収集及び提供等を実施している。 また院内がん登録開始後、生存率を把握し提供する。

指定要件等	必須:A, 非必須:B	44 熊本市立熊本市市民病院
所在地		熊本市湖東1丁目1-60
I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定	充足度	
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		熊本県(熊本医療圏) 670,159人(平成16年6月1日現在)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考	18.3% (平成14年)
II 拠点病院の指定要件 (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)		
1 診療体制		
(1)診療機能		
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○ 「参考資料1」 P694~P698
②緩和医療の提供体制	A	○ 緩和ケア病棟は有しないが、各病棟に緩和医療医療担当の看護師を配置し、医師、薬剤師、精神科医によるチームを編成し、緩和医療を実施している。
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○ 病診連携室を中心に、大学病院、医師会と連携し、地域医療機関からの患者受け入れ、情報提供を行っている。
(2)診療従事者		
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○ 画像診断、化学療法、緩和医療のどの分野においても学会認定の医師等を配置し対応している
②下記に掲げる者の配置		
○専門的な看護に携わる看護師	B	△ 各種研修会等を受けた看護師(兼務) 7人
○精神保健福祉士	B	×
○臨床心理に携わる者	B	○ 精神科医(兼務) 1人
○臨床診療録管理に携わる者	B	○ 診療情報管理士 3人
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○ 社会福祉士(兼務) 1人
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○ 日本放射線学会放射線科専門医 1人
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○ 日本病理学会認定医 2人
(3)医療施設		
①医療相談室の設置	A	○ 病診連携室として整備
②集中治療室の設置	B	○ 6床
③無菌病室の設置	B	○ 1床(他に簡易無菌病室2床あり)
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○ リニアック(1)
(4)医療機器		
○高度な医療機器の設置	B	○ 総合画像診断として、内視鏡(11)、超音波(22)、RI、マルチスライスCT(各1)、MRI(2)等。高度先進治療装置として、リニアック(1)、腔内照射(1)、温熱治療(1)
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○ 放射線科医、臨床工学士(8人)
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立		
	A	○ 昭和56年から実施、登録者数13,516人 地域がん登録へも協力し、生存率も算出
2 研修体制		
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 悪性腫瘍集学的治療懇話会(隔月) ○ 湖東症例会(毎月) ○ 乳房画像診断研究会(隔月)
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 上記研修会に加え、 ○ 院内緩和研究会(毎月) ○ 外来化学療法勉強会
3 情報提供体制		
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○ ホームページ開設中。診療情報等を掲載。 がん診療については、情報更新予定。
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談等に応じた情報提供	A	○ 病診連携室を中心に相談対応。 また、「熊本市市民病院便り」等により各地域医療機関へ情報提供している。
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○ 院内における診療情報は整備され、生存率も院内全体で算出できるようになった。また、地域がん登録へも協力している。 また、各種学会に定期的に参加し、情報の収集及び提供等を実施している

指定要件等	必須:A, 非必須:B	45 (独)国立病院機構都城病院	
所在地		都城市祝吉町5033-1	
I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定			
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		充足度:	宮崎県(都城北諸県)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考		43.5%(平成15年)
II 拠点病院の指定要件 (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)			
1 診療体制			
(1)診療機能			
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○	「参考資料1」 P699~P713
②緩和医療の提供体制	A	○	毎年、院外研修会に看護師を派遣して専門看護師を育成し相談に当たらせている。また、院内外の研究グループにおいて活動。16年度には緩和医療チームを編成して緩和医療提供体制を確立
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○	宮崎大学、鹿児島大学及び熊本大学のそれぞれ医学部付属病院並びに近隣医療機関と病連携、病診連携を取っている。
(2)診療従事者			
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○	それぞれ画像診断2名、化学療法13名、緩和医療13名の常勤医師が対応
②下記に掲げる者の配置			
○専門的な看護に携わる看護師	B	△	3名 資格はないが、専門的に看護に携わる者を配置
○精神保健福祉士	B	×	
○臨床心理に携わる者	B	×	
○臨床診療録管理に携わる者	B	○	1名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	×	
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○	1名
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○	宮崎大学医学部より病理医の随意派遣を受けている。
(3)医療施設			
①医療相談室の設置	A	○	1室
②集中治療室の設置	B	×	
③無菌病室の設置	B	×	
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○	1室(リニアック室)
(4)医療機器			
○高度な医療機器の設置	B	○	X線撮影装置、CT、MRI、RI装置、放射線治療装置、血管撮影装置、気管支鏡、マンモグラフィ等
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○	放射線技師8名配置
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立			
	A	○	胃がん、乳がん等は全国フォーマットで数十年実施。院内がん登録システムを16年度以内に構築
2 研修体制			
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○	地域医療従事者を対象に研修会を散発的に実施しているが、今後は定期的を実施する予定。
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○	国や学会開催の研修会に積極的に参加。また、院内研修として各種カンファレンスを実施。
3 情報提供体制			
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○	HPで学会認定状況、各診療科の特色、治療成績を公開。メール相談も受け付けている。
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談等に応じた情報提供	A	○	地域医療連携室を設置し、幅広く相談等に応じている。また、大型医療機器の共同利用を通して連携促進。
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○	各種学会に定期的に参加し、情報の収集及び提供等を実施している。今後は、がん登録システムの整備し情報提供を充実。

指定要件等	必須:A, 非必須:B	46 県立延岡病院
所在地		延岡市新小路2-1-10
I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定	充足度:	
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		宮崎県(宮崎県北部)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考	25.0%(平成15年)
II 拠点病院の指定要件 (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)		
1 診療体制		
(1)診療機能		
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○ 「参考資料1」 P714~P735
②緩和医療の提供体制	A	○ 15年度から5名の医師、4名の看護師等で緩和ケアチームを構成
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○ 熊本大学医学部とは各種がん治療に関する症例検討会等を開催、済生会日向病院とは術前、術後の患者紹介、術後の化学療法等の連携をとっている。
(2)診療従事者		
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○ それぞれ画像診断2名、化学療法39名、緩和医療15名の常勤医師が対応
②下記に掲げる者の配置		
○専門的な看護に携わる看護師	B	△ 3名 資格はないが、専門的に看護に携わる者を配置
○精神保健福祉士	B	×
○臨床心理に携わる者	B	×
○臨床診療録管理に携わる者	B	○ 1名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○ 1名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○ 3名
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○ 1名
(3)医療施設		
①医療相談室の設置	A	○ 1室
②集中治療室の設置	B	○ ICU3床、CCU1床
③無菌病室の設置	B	○ 2室
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○ 1室(リニアック室)
(4)医療機器		
○高度な医療機器の設置	B	○ リニアック、CTスキャン、MRI、アフターローディングを設置。
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○ 放射線技師10名配置
(5)院内がん登録システム(設備見込みを含む)の確立	A	○ 16年度内に院内がん登録システムを構築。
2 研修体制		
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 延岡腫瘍研究会(延岡市医師会所属医療機関、年4回開催)ほか
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 各種症例検討会、カンファレンス、緩和チーム事例検討会等を実施
3 情報提供体制		
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○ 病院概要、診療案内等
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談に応じた情報提供	A	○ 医療連携室を設け、相談に応じている
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○ 各種学会に定期的に参加し、情報の収集及び提供等を実施している また、院内がん登録整備後に生存率等の情報を提供